

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		07 05 04	中期総合計画主要施策番号		2-08		担当課	部・課	商工労働部労働雇用課		
事業名		働きやすい環境づくり意見交換事業				内線		2476			
						E-mail		rodokoyo@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	・労働者、使用者、行政の三者が一体となって、労働環境の現状と喫緊の課題、改善方法について、意見交換会を行うことにより、働く人の労働環境の改善を促進する。									
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・急激な社会情勢の変化等の影響を受け、雇用情勢は著しく変化してきており、企業において、労働条件や、人間関係など労働者の働きやすい環境づくりへの対応が難しくなっている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・厳しい社会情勢等を踏まえた企業経営を行う使用者と、雇用の安定と労働条件の向上を求める労働者との認識の違い。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・労働者、使用者、行政の三者による意見交換会を行い、お互いの取組や課題について、意見交換を行うことにより相互理解を深める必要がある。 ・喫緊の課題についての方策を検討することで、労働者の働きやすい職場環境づくりを推進する必要がある。									
	事業内容	・働きやすい職場環境づくり意見交換会の開催 ・意見交換会報告書の配布 ・「労働ながの」により企業、労働組合等へ啓発									
実施期間	H19 ~		根拠法令等								
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況			評価		
	働きやすい職場環境に向けての取組や課題について、意見交換を行うことで、お互いの理解を深めるとともに、方策を検討し、労働者の働きやすい環境づくりを推進する。		意見交換会の実施により、出席者相互の理解を深めること。 取り組み課題に対して、具体的な方策を導くこと。			出席者の取組み事例や意見に対し、共感や同意、また質問をするなど、積極的に意見交換がなされたことで、相互理解が深められた。また、他企業の取組み事例を、今後の取組みの参考にしていくなどの、働きやすい職場環境づくりの推進に前向きな意見が多く出された。			a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要				
	最終予算額 (A)		千円	398	250	159	国庫・県単 県単				
	決 算 額 (B)		千円	220	198		実施方法 直接				
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	220	198	159	歳出節別 内訳等				
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.25	0.25	0.25	・需用費:143 (単位: 千円)				
	概算人件費 (C)		千円	1,785	1,787	1,787					
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	2,005	1,985	1,946						
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績				
	意見交換会開催		回	1	1	2					
	報告書作成		冊	200	200	200					
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明								
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・昨年から世界的な不況により、労働情勢が厳しくなっていく中、労使行が一体となって、雇用環境の改善や働きやすい職場環境づくりを推進していくために、意見交換会は有効である。 ・また、県の労働雇用行政を推進していく上でも、労使の取組みや考えなど率直な意見を聞くことができるため、当面県の関与を見直す余地はない。				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	課題の総括		・今後は、労働環境についての課題について、より深く意見交換がなされるようにするため、テーマの選び方や、進行方法などを見直すなど、短い時間の中で、有意義な意見交換の場となるよう工夫をしていく。								